

【ソーシャルビジネス的手法による地域づくり促進助成】

令和 6 年度事業 実績報告・令和 7 年度事業 中間報告

ケヤキ剪定枝等を活かした 定禅寺通エリアブランディング・ プロジェクト

実施団体①

一般社団法人

定禅寺通エリアマネジメント



定禅寺通エリアマネジメント

JOZENJI STREET AREA MANAGEMENT

実施団体②

アサヒユウアス株式会社



アサヒユウアス

1. 事業実施団体について



定禅寺通エリアマネジメント
JOZENJI STREET AREA MANAGEMENT

- 定禅寺通地区の持続的な価値向上に寄与するエリアマネジメントに取り組むまちづくり団体。2022年4月に設立

■主な活動内容（実績）

- グリーンコミュニティ事業
- パブリックスペースマネジメント事業
- プロモーション事業
- フェローシップ事業
- 中間支援事業



- 事業活動において、「循環型社会の形成に貢献すること」「地域課題解決に貢献すること」を目的に活動

■主な活動内容（実績）

- サステナブルプロダクツの開発・販売
- サステナブルドリンクの製造・販売
- 上記を通じたサステナブルネットワーク構築のコーディネート

2. 事業の実施内容

(1) 課題

- 「定禅寺通エリアまちづくりビジョン2030」に基づき、地域関係者の意識醸成とあわせて、市民の共感を得ながら定禅寺通のファンを増やすことが不可欠
- 定禅寺通エリアで、ケヤキ並木から連想される「サステナブル」や「エコロジー」なエリアとしてのイメージ戦略をもとにした取組みを進めたい
- 定期的な剪定により発生した剪定枝は、定禅寺通のまちづくりやエリアブランディングへ活用されていない
- 仙台市では「プラスチック資源」の一括回収及びリサイクルを実施。市民に一層のごみ分別をしてもらうためには、身近な製品へのリサイクルを行い、リサイクルを実感してもらうことが必要

(2) 目的

【最終的に目指す姿】

- 定禅寺通エリアがサステナブルなエリアとして全国・世界から認知され、そのイメージに紐づいた多彩な活動等が活発に行われることで、多くの方が訪れ、経済活動につながる。また、それに伴って定禅寺通エリアを応援するファンが市内外で増え、定禅寺通エリアにおけるまちづくりが活発に行われている

(3) 令和6年度事業における目標

【令和6年度に期待できる効果】

- 定禅寺通エリアでサステナブルに関する取組みが今後展開されていくことについて、地域内外の市民及び関係者の認知度が高まる

【具体的な指標】

- オリジナルグッズの制作を題材に、資源循環の仕組みや効果など発信するリーフレット作成やイベントでのPRブースなどを通じて周知を行う

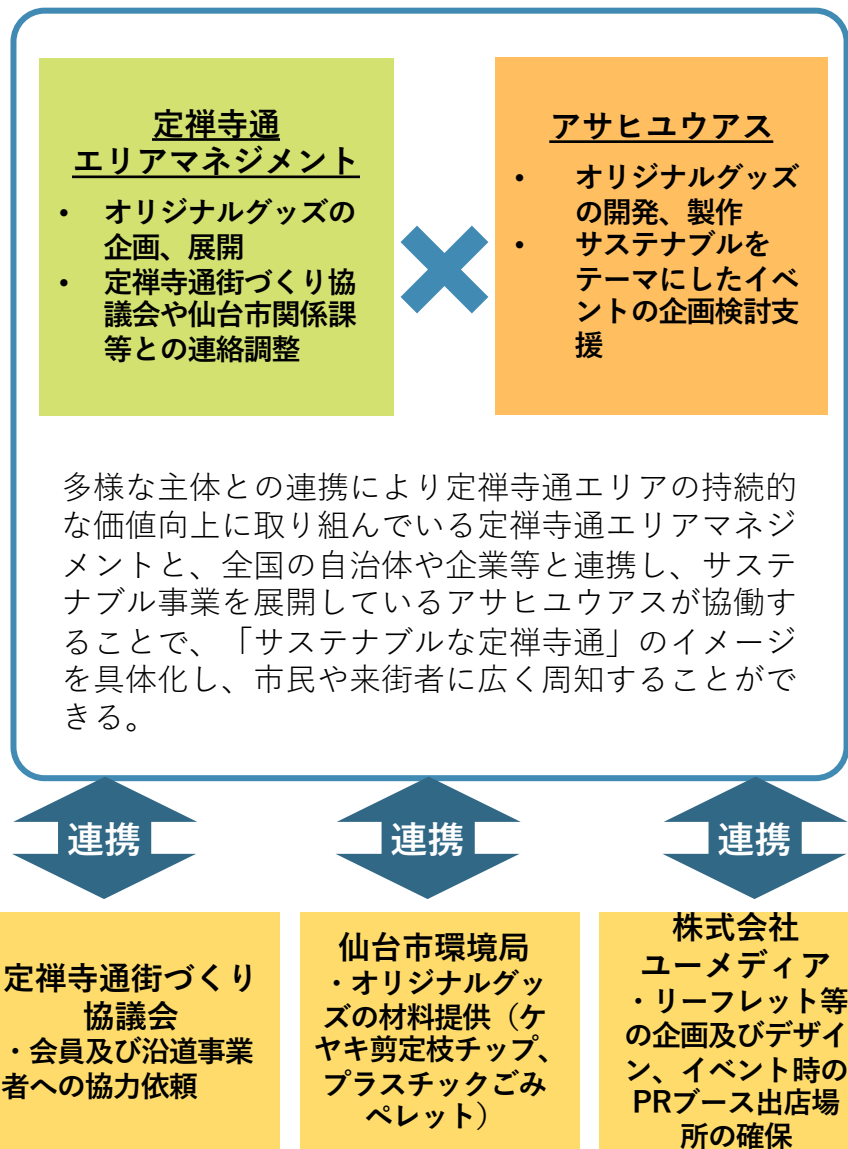
イベントでの出展ブース来場者：5,000人

取組みへの共感者の割合：75%

(5) 令和6年度事業の全体スケジュール

月	事業実施内容			
	①オリジナル グッズの開発	②取組みの発信		③ニーズ・共感度 の把握
		リーフレット 作成	既存イベントと 連携したPR	
4月	製品（タンブラー・ビー ル）の開発検討、試作	企画検討	企画検討	
5月				
6月				アンケート内容検 討
7月	製品（タンブラー） 本製作（定禅寺通エリア マネジメントが実施）	デザイン	イベント準備	
8月		印刷	情報発信	
9月			ゼロカーボンイベント出展	来場者アンケート
10月	製品（ビール）の 製品化に向けた検討	リーフレットを 用いた周知活動	バンバル仙台出展	結果取りまとめ
11月			バンバル仙台出展	
12月			せんだいリブート 出展	沿道店舗、事業者 へのヒアリング、 アンケート調査
1月				
2月				
3月	会計確認、実施報告の作成			

(4) 事業の実施体制



(6) 使用経費について

事業費総額

3,737,063円

収入内訳

助成金	2,839,000円
オリジナルグッズ 販売収入	715,750円

支出内訳

< 助成対象経費 >

人件費	758,730円
報償費	1,108,140円
消耗品費	20,839円
印刷製本費	266,930円
使用料及び賃借料	119,715円
設備備品購入費	881,100円

< 助成対象外経費 >

オリジナルグッズ 製作費	581,609円
--------------	----------

4.令和6年度事業の実施概要

(1) ケヤキ剪定枝等を活用した資源循環型オリジナルグッズの開発



タンブラー
→9/27一般販売開始



ケヤキビール
→展開を検討中

(1) ケヤキ剪定枝等を活用した資源循環型オリジナルグッズの開発

■R6タンブラー販売状況

種別	詳細	販売個数	合計個数
一般販売（イベント等）	立町たちのみ、Jozenji Street Zero-Carbon Challenge、バンバル仙台、雑談ミーティングなどで販売	202	379
企業への販売	9社より購入。ノベルティ利用のため箱付きでの販売も含む	152	
関係者への提供		25	



**Jozenji Street Zero-Carbon Challenge
(9/27-28)での販売**

主催:定禅寺通街づくり協議会／共催：仙台市



バンバル仙台（10/17-20）での販売
主催:一番町四丁目夜イベント実行委員会



とびばいさ甘座での店頭販売

(1) ケヤキ剪定枝等を活用した資源循環型オリジナルグッズの開発

■タンブラー外装箱の開発

- 企業への販売時に『ノベルティとして利用したいため、外装箱があると良い』との意見が複数あったため、外装箱を制作



タンブラー外装箱

(2) オリジナルグッズを題材とした、 定禅寺通における資源循環の取組みについての発信

- 定禅寺通周辺で行われる、資源循環や環境、エコに関するイベントへ参加・出展し、プロジェクトについてのPRを行った。

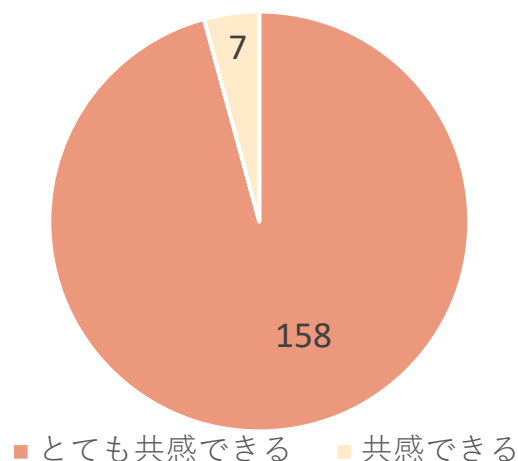
	実施日	イベント名	来場者数
1	9月27日（金） -28日（土）	Jozenji Street Zero-Carbon Challenge 主催:定禅寺通街づくり協議会/共催：仙台市	約1000名
2	9月27日（金）	タンブラーお披露目会 主催:定禅寺通エリアマネジメント/協力:仙台市	約30名
3	9月28日（土）	Sendai SDGsWeekでのトークセッション実施（9/28） 主催：仙台青年会議所	約30名
4	10月1日（火）	定禅寺通ファンミーティングでの話題提供（10/1） 主催：株式会社雑談会議	約30名
5	12月7日（土）	せんだいリブートトークイベント	約30名



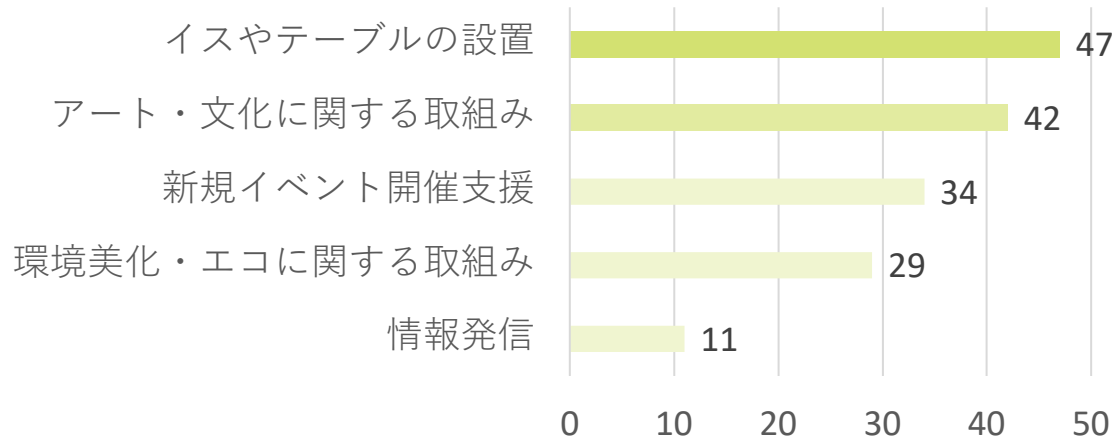
(3) 市民や企業等への取組みのニーズ・共感度の調査

- **市民のニーズ・取組みへの共感度を把握**することを目的として、イベント開催時に**来場者アンケート調査**を実施した
- 取組みへの共感度については**全員から「とても共感できる」「共感できる」との肯定的な回答**が得られた
- タンブラー1個につき100円が定禅寺通のまちづくりに還元されるにあたり、いいねと思う取り組みについては、「**イスやテーブルの設置**」や「**アート・文化に関する取組み**」が多い

JSCプロジェクトへ共感できるか



タンブラー売り上げの使用用途としていいねと思うもの



アンケート調査実施日：9月27日（金）-28日（土） Jozenji Street Zero-Carbon Challenge、
10月17日（木）-20日（日） バンバル仙台

アンケート方法：シール投票

5.令和6年度事業の成果と今後の課題

	当初目標	●成果 ▲課題（R7事業に反映）
R6年度事業の実施により 目指す姿 (事業の目的)	A)市民や来街者が、サステナブルな定禅寺通エリアであると認知するきっかけとなるような体験の創出	●オリジナルグッズの開発・販売(や各種メディア)を通じて、より広範に定禅寺通エリアの資源循環/サステナブルな取り組みをPRを実現
	B) 体験の内容や料金に対する市民や来街者のニーズの確認と、将来的な事業の持続性に向けた課題の整理	●市民からプロジェクトへの共感を獲得 ●企業のノベルティとして一定のニーズを確認 ▲プロジェクトに関わる主体を増やし、販売経路の多様化とともに、購買行動につなげる訴求手段の検討
R6年度事業の目標	1) 定禅寺通エリアでサステナブルに関する取組みが今後展開されていくことについて、地域内外の市民及び関係者の認知度を向上させる	●定禅寺通街づくり協議会にまちづくり基金の創設 ▲プロジェクトに関わる主体の拡大を通じて様々なチャンネルを活用したPRの検討

6. 令和7年度事業の実施状況

【審査会でのご意見】

< 附帯意見 >

- a. オリジナルグッズのブランディングを行うとともに、定禅寺通で開催される他のイベントとの連携企画など、普段から定禅寺通エリアに足を運びたくなる仕掛けづくりについても検討を進めてください。

< その他参考意見 >

- b. 2年目の事業実施となるため、これまでの取り組みを踏まえ、自走化を意識した事業展開を行ってください。

6. 令和7年度事業の実施状況

【令和7年度に目指す姿】

- ケヤキ剪定枝を活用したオリジナルグッズ等が市民や来訪者に **定禅寺通ならではのものと認知**され、**購入やイベントへの参加などの行動につながっている**
- オリジナルグッズ等の販売による **収益モデルが確立**され、**事業が継続**できる状態となっている

【令和7年度の目標】

項目	指標	成果数
本プロジェクトに関わる主体が増えている	他主体とコラボレーションによる資源循環型グッズの開発	1 種類以上
市民及び来訪者等がオリジナルタンブラーを手にとることのできる環境ができている	オリジナルタンブラーの取り扱い・使用店舗数	3 店舗以上
オリジナルタンブラーが購入されている	令和6・7年度の合計販売数	1,000個

6. 令和7年度事業の実施状況

(1) イベント主催者等との連携による、 資源循環型コラボグッズの開発

指摘対応-a

- 定禅寺通エリアを会場にイベントを開催する、定禅寺ストリートジャズフェスティバル（以下、JSFと記載）とコラボし、『**JSCガンザ“けやシャカ”**』を開発
- ガンザの金型はアサヒユウアスの知見から、既存の金型（ホテルで使用される歯磨き用のコップ）を活用
- JSF（2025年9月13日（土）-14日（日））にて、**1個あたり1,100円**で販売し、**約600個を販売**。ほか、クラウドファンディングの返礼品として68個が注文

▶ **1個あたり10円をまちづくり基金に還元**



(2) オリジナルビールの商品化

指摘対応-a

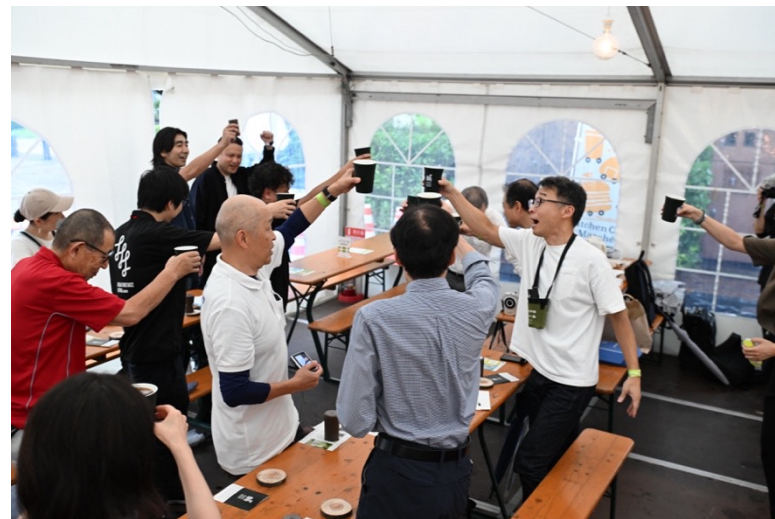
- 令和6年度にアサヒユウアスが開発したオリジナルビールのレシピをもとに、穀町ビール（仙台市若林区）に製造を依頼
- ビールは「**JOZENJI STREET BEER**」として仙台オクトーバーフェスト（9月5日～23日）にて販売
- 1杯1,400円で販売**し、イベント期間中に予定していた**約350杯（168L）**を完売。（最終日には売り切れ）
- （販売者からの声）飲んだ方からの**評判は良好**で、**リピートする人**が多かった



(3) オリジナルタンブラーの普及

指摘対応-a

●新規リーフレットの作成



●オリジナルタンブラーを活用したプログラムの実施
-9月13日（土）に関係者を対象とした
「JSCガンザ“けやシャカ”&JOZENJI STREET BEER
お披露目会」を実施（タンブラーも活用）



(3) オリジナルタンブラーの普及

指摘対応-a

●PRブースへの出展

-9月27日(土)西公園開園
150周年記念フェスに参加



●常設店舗での販売

-とびばいさ甘座(3月末～)、仙台三越(6月末～)



●イベントでの販売

-バンバル仙台、仙台オクトーバーフェスト会場にて実施

タンブラー販売個数：

433個

(2025年9月末時点)

7. 今後の事業展開

<プロジェクト全体>

- ・ 令和6・7年度で関係性を構築した様々な主体と連携しながら、オリジナルグッズやコラボグッズの製造・販売を継続し、売上の一部を定禅寺通のまちづくりに還元する仕組みを定着させる
- ・ 事業の認知度向上を図るため、HPへのコラム掲載やプロジェクトPR動画の制作を行う
- ・ 資源循環に関する取組みを定禅寺通エリア全体として進める

例：ケヤキの伐採木の活用（グッズやストリートファニチャーの材料としての使用 など）

伐採木を活用したコースター（検討中）



7. 今後の事業展開

<各グッズ>

- **JSCタンブラー**

定禅寺通に関するクラウドファンディングの返礼品としての活用が予定されているほか、取扱店舗の拡大を目指す

- **JOZENJI STREET BEER**

定禅寺通に来ると飲むことができるという体験価値を提供するため、定禅寺通周辺の飲食店での販売を目指す

- **JSCガンザ“けやシャカ”**

次年度以降もJSFでの販売を継続し、定番グッズとしての定着を目指す